

【NEWS RELEASE】

2021年10月22日

SMBC日興証券株式会社

神奈川県グリーンボンド引受けのお知らせ

SMBC日興証券株式会社は、この度、神奈川県（県知事：黒岩 祐治）が発行する、気候変動適応事業のみに調達資金を充当予定のグリーンボンド*（以下「本グリーンボンド」）の引受けにおいて、昨年度の初回発行に続き事務主幹事を務めましたのでお知らせいたします。

神奈川県では、気候が非常事態にあるという危機感を、市町村、企業、アカデミア、団体、県民などと共有するため「かながわ気候非常事態宣言」を行い、気候変動適応の取り組みとして、神奈川県地球温暖化対策計画のもと、地球温暖化等を要因とする気候変動から生ずる大型台風や集中豪雨などが頻繁に発生することによる水害への対応力強化対策として「神奈川県水防災戦略」を昨年度に定め、今年度も引き続き計画的、重点的に対策を進めています。本グリーンボンドの発行額は100億円となり、昨年度の初回発行額である50億円を大きく上回ることとなりました。

同戦略で定めた事業のうち、重点分野かつ気候変動適応事業としての環境改善効果が見込まれる事業（河川の緊急対応、遊水地や流路のボトルネック箇所等の整備、海岸保全施設等の整備、土砂災害防止施設の整備）に充当する県債について、グリーンボンドとして機関投資家向けに起債することで気候変動適応事業の重要性と神奈川県の取り組みを広く訴求していくことを企図しています。

神奈川県は、SDGsの達成にもつながる取り組みとして、「県民のいのちを守る持続可能な神奈川」の実現に向けて、「神奈川県水防災戦略」を推進しています。

当社では、環境問題や社会問題の解決に資するファイナンスニーズの捕捉及びESGの推進に積極的に取り組んでおります。大型台風や集中豪雨などの気候変動に対する適応事業のためのグリーンボンドへの昨年度に続く関与は、当社におけるグリーン

ボンドに係る知見を示すと同時に、日本におけるESGファイナンス市場の更なる発展に繋がるものと自負しております。また、当社は地球環境もステークホルダーの一つであるという認識のもと、環境関連ファイナンスをリードするとともに、自治体など地域における様々な課題をともに解決していく存在を目指し、SDGsの掲げる「住み続けられるまちづくりを（都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする）」、「気候変動に具体的な対策を（気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る）」及び「陸の豊かさを守ろう（陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る）」に貢献していきます。

いっしょに、明日のこと。
Share the Future

※ 環境課題解決に資する事業の資金を調達するために発行する債券。神奈川県は、グリーンボンドの発行のために国際資本市場協会(ICMA)による「グリーンボンド原則(The Green Bond Principles)2018」及び環境省による「グリーンボンドガイドライン2020」に即したグリーンボンドフレームワークを策定しました。なお、グリーンボンドフレームワークに対する第三者評価として、株式会社格付投資情報センターよりセカンドオピニオンを取得しております。

【今回発行されるグリーンボンドの概要】

名称	神奈川県第2回5年公募公債(グリーンボンド)
年限	5年(満期一括償還)
利率	0.001%
発行額	100億円
条件決定日	2021年10月22日
払込日	2021年11月2日
償還日	2026年9月18日
事務主幹事	SMBC日興証券株式会社(共同主幹事:野村証券株式会社)

以上